



# 丹波だより 3月号

指宿市立丹波小学校  
令和6年3月11日発行  
児童数501名

【学校教育目標】「大きな夢の実現のために、心豊かで、たくましい丹波の子を育てる」

【校訓】丹波魂 「よく考える すすんで実行する 最後までやりぬく」

【めざす子どもの姿】「たがいに知恵を出し合う子」

「明るく、思いやりのある子」

「根気強く体をきたえる子」



〔住所〕指宿市湯の浜3丁目2-6

〔TEL〕0993(22)3011

〔FAX〕0993(22)2192

〔学校ホームページ〕

※ブログ更新中!ご覧ください!



## 「日々の積み重ね」による成長の実感

学校長

今年度最後の全校朝会で、以下のような話をしました。

「習」の漢字の上の部分は「羽」です。下の部分は「白」ですが、これは元々は違う形で、本来は「自分で」という意味があるといわれています。この「習」は、子供の鳥が一人前になって一人で飛べるように羽をバタバタさせながら飛ぶ練習をすることを指しています。鳥は、何度も何度も練習して失敗しながら、やがて飛べるようになります。つまり、「習う」ということは、自分の力で動けるように、羽ばたけるように繰り返し練習するという意味があります。

みなさんもうできるようになるために、何度も繰り返し練習することがあったと思います。また、自分では意識しなくても繰り返しすることで、できるようになります。

校長先生が担任をしているとき、例えばこんな子供たちがいました。

教科書を何度も声に出して読み、いつの間にかその部分を見なくても言える、覚えている子がいました。

計算を何度も練習して、計算が速くなって間違いもなくなり、自信をもってすごく難しい問題までできるようになる子がいました。

鉄棒がとても苦手で怖がっていたけど、繰り返し練習し、技がどんどん上達して、周りをびっくりさせる子がいました。

楽器でよい音を出したいと、気持ちを込めてこつこつ演奏の練習をすることで、とても心地よい音が出せるようになる子がいました。

みんなが気持ちよく生活できるように、あいさつや掃除、仕事を毎日頑張っている子がいました。その子の周りにはいつも温かい雰囲気でした。

何度も繰り返し、こつこつ続ける、積み重ねることは、強い頭や体や心をつくってくれるのです。

けれども、同じことを繰り返し、続けるということは、大人でも苦しいことが多いです。だから、学校で「みんなで」一緒にするのです。学校のよさは、そういうところです。

時には、先生からハードルを上げられたり、やり直しをしたりすることがあるかもしれませんが、それは、先生方がみなさんはこんなものじゃない、まだまだできると思っているからです……。

この一年、お子さんは様々なことを習い、体験をとおして学び、心身共に大きく成長したことでしょう。それぞれの御家庭で「これができるようになったね。」「こういうところがすごく伸びたね。」と伝えてあげてください。日々の積み重ねによる成長の実感をもたせる言葉かけをお願いします。

今年度も、教育活動に際して、保護者や地域の皆様の多大な御理解と御支援をいただきました。心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



## PTAふれあい作業 (3・4年)

2月18日(日)、第3回PTAふれあい作業を実施しました。今回は3・4年生及び父親部の皆様に御協力いただき、校庭側溝の掃除や鉄筋校舎教室の扇風機の掃除を中心に約1時間半、作業してくださいました。日頃、児童と教職員だけでは行き届かないところをきれいにしてくださったおかげで、年度末をきれいな環境で教育活動に取り組むことができています。

お忙しい中にもかかわらず、御協力くださった皆様、ありがとうございました。



## 吹奏楽部スプリングコンサート

3月2日(土)、本校吹奏楽部のスプリングコンサートを開催しました。多くの保護者や地域の皆様が来校され、子供たちの演奏する姿をご覧くださいました。部員25名と指導者3名、緊張しながらもみんな笑顔で日頃の練習の成果を十分に発揮することができました。当日は、南指宿中学校の吹奏楽部の生徒の皆様が参加してくださいました。ありがとうございました。



